



つながる
つながる

特定非営利活動法人
姫路コンベンションサポート
事業報告書

平成28年度 2016-17

平成29年3月

今年度は法人設立15年の節目の年となりました。

3月10日にゴルフコンペを実施するなど、

今までにない法人の取り組みもありました。

次の15年に向けて、継続できる法人の体制づくりなど、

様々な取り組みができたのではないかと感じています。

ようやく大学院を
修了しました。
研究はまだ
続けていきます!



STAFF
玉田恵美

穴粟にとっぴり★
今年はたくさん
筋肉をつけます!



STAFF
小酒井里佳

早く一人前に
バリバリ活躍
できるよう
がんばります!!



STAFF
依田法子

私たちのミッション

私たちは

本気でまちをおもしろくしたい人を

全力サポートする

法人です。

こんなことできたら
絶対おもしろい!

もっと
こんなことしたい!

生まれ育ったふるさとや、住んでいる地域、身近なコミュニティなど、

「まち」のために何かしたい本気の想いを、全力でサポートします。

一人ひとりの想いがカタチになると、

めちゃくちゃおもしろい「まち」になる。

私たちは、兵庫県姫路市から、そんなおもしろい「まち」がつながり、

全国へ広がっていくことを目指しています。

姫路コンベンションサポートのクレド(信条)

~こんな働き方をしています~

1
全力サポートするために
だれにでもモテる人になる!

私たちは、相手の立場で考え、感謝の心で接し行動することで、地域の人にも仲間にも愛され、信頼される人になります。結果、様々な人たちのネットワークができ、あらゆる情報を収集・共有していきます。

2
全力サポートするには
なにごとにも挑戦し続ける!

私たちは、経験豊かで多様な個性を活かし、自律心と向上心を持って取り組みます。目の前にあるものをそれだけで終わらせず、+αし続けるところが姫路コンベンションサポートらしいサポートの形です。

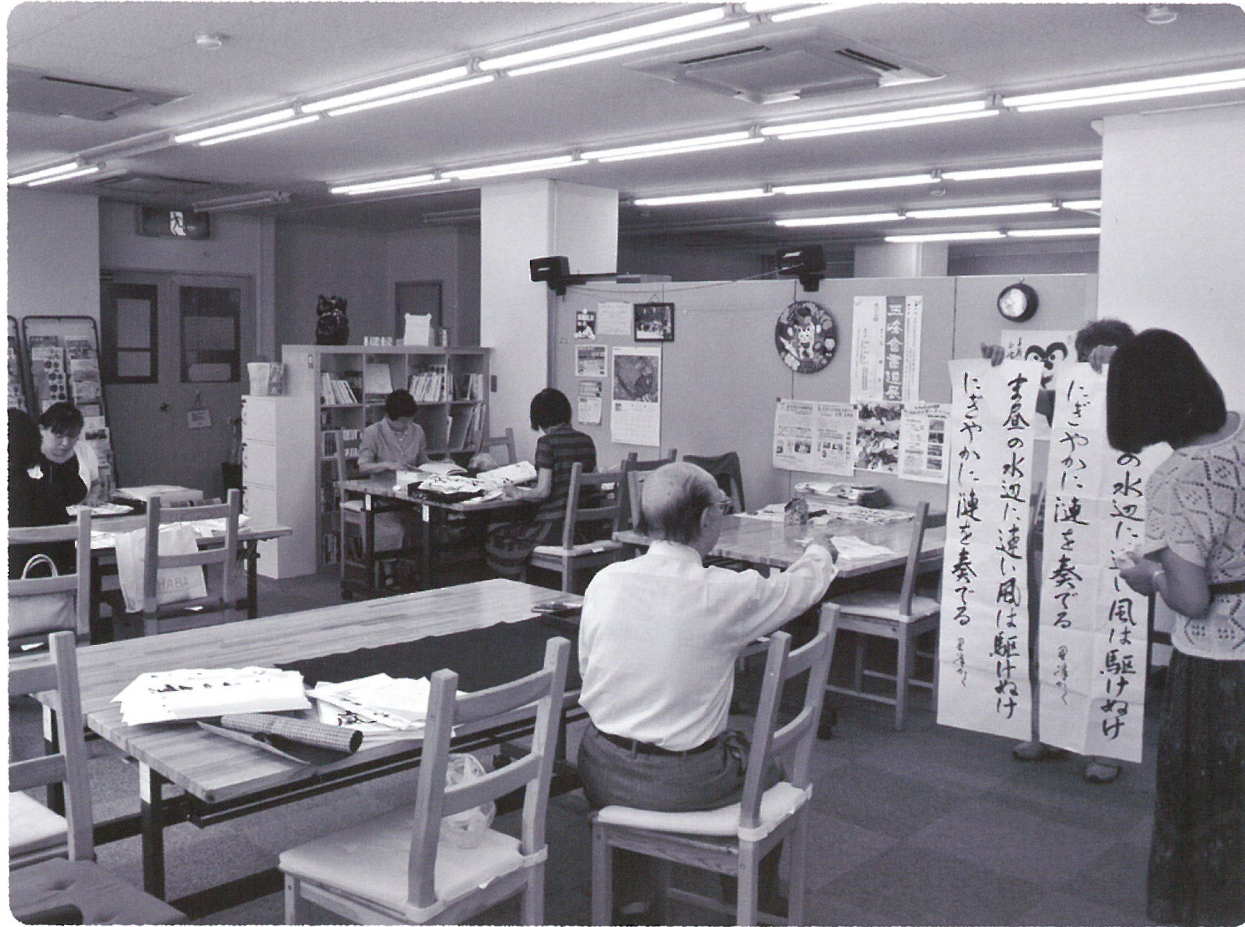
3
全力サポートを目指して
とにかく仕事を楽しむ!

私たちは、ともに同じ汗をかき、役立てることを喜び、笑顔で「人」に向き合います。私たちが仕事を楽しむことは、本気で「まち」をおもしろくしたい人を全力サポートする第一歩です。

01

事業報告①人材育成に関わる事業

コワーキングスペース電博堂



コワーキングスペース電博堂

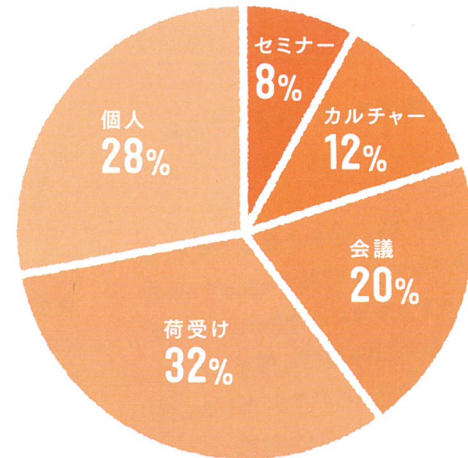
営業日 月曜日～金曜日(土日、祝日休業)

営業時間 9時～20時

利用料金

ドロップイン	…… 2時間まで500円
	2時間以上1日 1,000円
月会員	…… 1カ月 9,800円
年会員	…… 1カ年 100,000円
貸切利用料金	… 2時間まで 3,000円

■コワーキングスペース電博堂利用目的



ここからの新しい出会いが、
まちを元気にするきっかけになったら
いいなと思っています。



STAFF
依田 法子

人と人をつなげ、新しい事業を生み出す場として運営しているコワーキングスペース電博堂。オープンしてから3年が経ち、書道教室などのカルチャー利用のほか、団体旅行の荷物預かり、グループの勉強会、定例会議など、貸し切りで使われるようになってきました。コワーキングスペースとは場所を共有しながら会議や打ち合わせ、勉強などを行うことが目的です。

一方で、使われ方が偏ってきた傾向にあり、現在は貸し切りの会議や勉強会などが多くなっています。今後の課題として間仕切りなどを作り、個室と共有スペースを区分することも視野に入れ、利用者が使いやすい空間を提供していきたいと考えています。



VOICE 01

三品由賀里さん
お花教室

花を身近に感じていただきたいと、月に1回、「季節を伝える花教室」を開催しています。駅前ということ、駐車場も近くにあるので、出来上がったお花を持って帰っていただくにも便利だと喜ばれています。このコワーキングスペースにも生花が増えてきましたよ。



VOICE 02

株式会社エイトリンクさん
会議でご利用

姫路駅前を中心に7軒の居酒屋を営んでいます。従業員みんなが集まりやすく、ホワイトボードやプロジェクターなど設備が整った電博堂は社内会議をするのにぴったりの空間です。



02

事業報告①人材育成に関わる事業

姫路城英語ボランティアガイド養成講座



平成28年に姫路市に訪れた観光客は211万人。そのうち外国人は37万人。中でも、台湾、フランス、アメリカからのお客様が多く、東京や大阪などの大都市とは違った様子が見てとれます。

姫路城英語ボランティアを養成する取り組み(アイガイド事業)は、平成17年度から始まった当法人の核となる事業で、外国人向けのボランティアガイドを養成することと、ガイドのサポートが大きな事業となっています。

2011年には年間で9名しかなかったガイドの依頼が、2016年には643名と大きく増加しています。様々なニーズに対応するため、ボランティアのスキルアップやモチベーションのキープなど、事務局としてサポートしています。

ガイドとしてデビュー!

姫路城英語ボランティアガイド 「アイガイドなびグループ」事務局

姫路城英語ボランティアガイド養成講座を卒業された人たちが運営される「アイガイドなびグループ」の事務局運営をしています。28年度は直接、海外からでも予約受注できる英語サイトを新設しました。稼働から3カ月で受注件数は61件211名と、好調なすべりだです。



姫路城英語ボランティアガイド 養成講座

3月25日(土)から開講した姫路城英語ボランティアガイドは15才から75才までの20名が受講されました。

- 日程 平成29年3月25日(土)～6月10日(土) 全10回
- 受講者数 20名
- 受講者年齢 15才～75才
- 男女比 男性10名、女性10名
- 受講料 3,240円×10回(姫路城入城代込)



課題と解決

姫路でも外国人観光客が増加しています。東京、大阪の大都市と大きく違う点は、姫路の外国人観光客は滞在型ではなく通過型であること、欧米系のお客様が多いということが挙げられます。姫路駅周辺の整備と姫路城改修のおかげで多くの外国人が訪れる一方で、中心市街地商店街がその恩恵を受けずにいることも課題の1つとして挙げられています。

■姫路市観光案内所窓口対応ランキング

- | | |
|--------|--------|
| 1 台湾 | 4 スペイン |
| 2 フランス | 5 タイ |
| 3 アメリカ | |

姫路市観光案内所資料より

COLUMN
01

外国人観光客の背景

訪日外国人観光客は、平成27年度は1,947万人と3年連続で過去最高を記録しました。この数は、日本から海外へ旅行をする人数を上回り、観光産業は地方創生の鍵としても注目されています。

日本では、「世界が訪れたい日本」という新たなステージへと進むために、選ばれる国になるとともに、リピーターの確保と滞在日数の増加を目指しています。「質の高い観光都市」を目指して、観光資源の発信とともに旅行業界の人材確保や育成に注力する施策を打ち出しています。

その中の1つに「通訳案内士制度のあり方検討」もあり、通訳案内士不足を解消すべく、地域限定の特例ガイドを設け、積極的に外国人観光客を取り込む地域も出てきました。

参考文献:平成27年度観光白書

03

事業報告②情報発信に関わる事業

週替わりアンテナショップ電博堂の運営



週替わりアンテナショップ電博堂

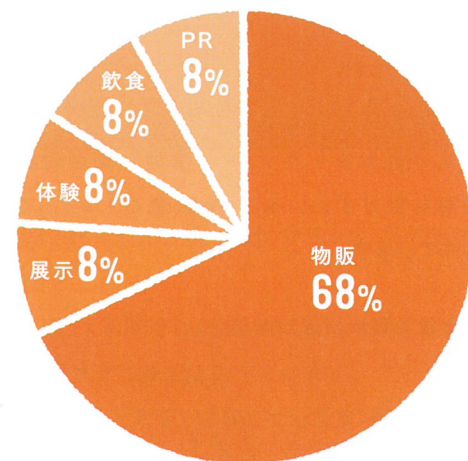
姫路市綿町104

利用料金 1週間30,000円(税別)

利用日 木曜日～火曜日(水曜日定休)

- 利用例
- チャレンジショップ
 - ご当地グルメ試食・販売
 - 観光キャンペーン
 - 展示・販売

■ 利用状況(平成28年度)



週替わりアンテナショップはチャレンジショップとしても利用いただいています。ここで販売された方が、空き店舗に新しく出店するきっかけになればうれしいです。



STAFF
玉田恵美



平成15年4月に初めて事務所を開設した御幸通商店街の北端と同じこの場所に、28年4月アンテナショップ電博堂は新しくオープンしました。

我々は、これまで「たまちゃん街の駅」(平成21年～24年)「銀の馬車道アンテナショップ」(平成21年～26年)「元町週末マルシェ」(平成25年)「きてーな栄粟」(平成26年～現在)など数々のアンテナショップを運営してきました。その経験から必要なときに必要な人が必要な日数だけアンテナショップを出す方が、より効率的なのではないかと考えるようになりました。

今年度、きてーな栄粟が場所を移転したことから、思いの深いこの場所を、自由に使えるアンテナショップとしてリニューアルし、7月からオープンさせたところ、稼働率67%という好調な結果となっています。

課題と解決

オープンして1年。当初予想していた「PRブース」という使用目的よりも、純粋な物販のほうが需要が高いことが分かりました。自由に様々なものを販売できる場所は少なく、4.5坪という狭い空間は移動販売をするには適したものであると考えられます。

利用いただく頻度が増えている方には割引制度を設けたり、冬場の閑散期対策をしたりなど、リピーターを増やす2年目を運営したいと考えています。

COLUMN 02

アンテナショップの現状と課題

首都圏下を始め大都市にはアンテナショップが多くみられるようになってきました。今までは地方に行かなければ食べられなかった名物やお土産が都心で手に入るとあって、人気スポットとなっています。アンテナショップとは、「地域特産品の宣伝・販売、観光・イベント情報の提供、地元産業の紹介」などの活動によって、地域資源や地域ブランドの認知度を向上させ消費を促進させるための、地方自治体が直接・間接に運営する店舗または出先機関(注)とされています。アンテナショップの多くは公設民営方式が用いられ、単に特産品を販売するだけでなく、地方創生、特に人口減少地域における移住や定住も視野に入れた取り組みをすることが多いようです。

共通の課題としては、どうやって継続性を担保するかということ。収益の確保という視点から、地域ビジネス性を確保し稼げる仕組みづくりを構築するということや、地域との連携も不可欠で、運営者はかなり熟度の高い中間支援組織であるということを求められています。

一方で、補助金が切れると途中で退店を余儀なくされるということも多く、運営の在り方についても検討課題を多く残しています。

04

事業報告②情報発信に関わる事業

ふるさと宍粟PR館 きてーな宍粟



ふるさと宍粟PR館 きてーな宍粟

宍粟市の魅力を伝えるアンテナショップ。
新鮮野菜、お菓子や
手作りのお惣菜などの加工品も販売。

姫路市西駅前町1

☎079-287-3123

営業時間 10時～18時

(ただし年末年始は休業)

おすすめの逸品



おむすび 130円～

宍粟市内各地のお米を宍粟の名水を使って炊き上げています。宍粟市は昼夜の寒暖差があるのと、清流のおかげで米がおいしいと評判です。毎日11時に炊き上がるアツアツのおにぎりをご賞味ください。



名水コーヒー 200円～

宍粟市の名水で作るコーヒーは、まるやかですっきりとした味わい。アイスでもホットでもお楽しみにいただけます。電車の中で飲むためにテイクアウトされる方も増えてきました。

握りたておむすびは
当店の自慢です!



STAFF
小酒井 里佳

御幸通商店街の店舗から足掛け3年。7月29日にきてーな宍粟が神姫バスビル1階に移転しリニューアルオープンしました。以来、多くの方がきてーな宍粟のファンになり、そこから宍粟市へと訪れています。

ここでは、宍粟市の特産品販売だけでなく、イベントや観光地のPR、定住促進コーナーも設置しました。今までの狭い空間では出来なかったことが、実施できています。特に、飲食コーナーはファンも多く、宍粟の水と寒暖差のある気候で育った米でつくったおむすびは、大好評です。2月から発行している「きてーな宍粟便り」は、生産者とお客様とに分けており、12月4日には感謝イベントとし、ふるまい餅を行いました。きてーな宍粟という店舗だけでなく、ここを窓口とし、宍粟市を日本中にPRすべく活動をしていきます。



COLUMN
03

小泉武夫講演会「播磨国風土記と日本の麴文化」

宍粟市は日本酒発祥の地と言われ、奈良時代初期に編纂された播磨国風土記には「庭音の村(本の名は庭酒なり)。大神の御糧、枯れて、かび生えき。すなはち、酒を醸さしめて、庭酒に献りて、宴しき。」と記述があります。これが麴・水を用いた酒造りの製法として現在の日本酒に通じる最古の記述と言われており、宍粟市が日本酒発祥の地であると言われる所以となっています。

地元の活性化の1つは自分のまちに誇りを持つことで、地域資源の発掘とそれらを住民で共有し、磨きをかけることであると考え、発酵文化研究の第一人者である小泉武夫先生にお越しいだき、酒、みそ、漬物に代表される発酵文化のすばらしさについて講演をいただき、来場者とともに日本酒をはじめ日本食のすばらしさを共有しました。

当日は、400名を超える来場者で会場は埋め尽くされ、同時開催された「おむすび品評会」も用意した500個のおむすびがすべてなくなるなど、大好評でした。

小泉先生からは「宍粟市は発酵都市として、日本へ発信していくべきだ」というアドバイスもいただき、今後の展開に弾みがつきました。

実施日 平成29年2月5日(日) 14時から15時30分

場所 宍粟市防災センター大ホール

入場者数 400名

同時開催 おむすび品評会



05 事業報告③普及啓発事業

姫路市施設 指定管理業務

姫路市内にある6つの施設の指定管理の運営業務に携わっています。より地域と密着したコミュニティづくりをしたいとの思いから、平成24年にNTTファシリティーズとJVを組み、指定管理業務を受託してから5年が経過しました。昨年度実施したブランディングの結果、今年はスタッフたちから「運営会議をやりたい」との声が上がり、法人としての運営体制の強化へとつながりつつあります。

今年度は「子どもの孤食の課題解決をしたい」という相談が法人に寄せられ、飾磨市民センターでこども食堂を開設することとなりました。このように、やりたいという人の思いを実現できる場として市民センターが地域の核となることを希望しています。

1. 姫路市勤労市民会館

◆ 姫路市中地354番地

姫路市勤労市民会館は、働く市民の文化と教養の向上および福祉の増進のためにつくられた施設です。館内では、地域の皆様のワークライフバランスを考えた各種講座などの催し物が行われるほか、サークル活動や団体の会合など貸室をしています。

2. 姫路市飾磨市民センター

◆ 姫路市飾磨区玉地1丁目27

姫路南ICからまっすぐ南下場所に位置した場所にある飾磨市民センターでは、各種自主講座を運営しています。特に健康体操は人気の講座で、100名近い方々が受講されています。

3. 姫路市広畑市民センター

◆ 姫路市広畑区 正門通1丁目7番地3

玄関に季節の花がいっぱい！ 所長が趣味の園芸がみなさんに波及をし、色んなお花が集まっています。

4. 姫路市東市民センター

◆ 姫路市花田町 加納原田888番地1

10月29日・30日に教養講座発表会が開催されました。花田中学校の生徒さんたちにも司会をしていただくなど協力いただき、大勢の方でにぎわいました。

5. 姫路市灘市民センター

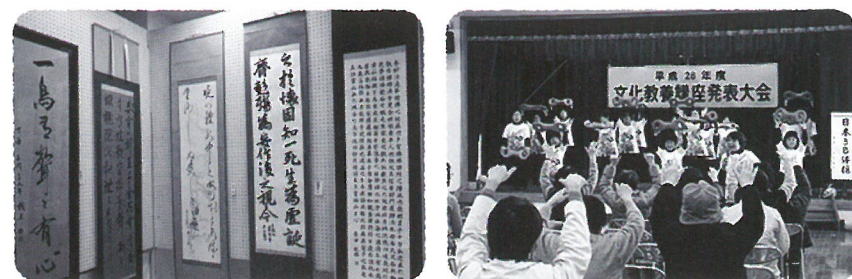
◆ 姫路市白浜町宇佐崎中 2丁目520番地

姫路の祭りどころ、灘にある市民センターです。祭りのあとは、市民センターロビーで祭りの写真展示会などを開催しています。

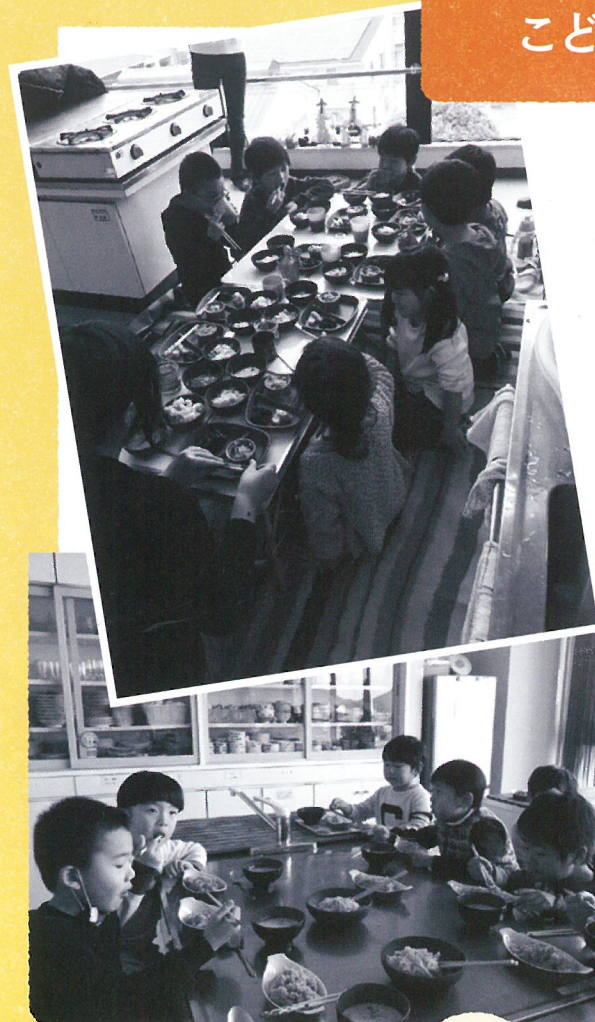
6. 姫路市西市民センター

◆ 姫路市飾西728番地5

3月4日・5日の両日に渡り、教養講座発表会が開催されました。特別ゲストとして南京玉すだれのみなさんも登場いただきました。



こども食堂kul



子どもたちの孤食をなくしたいという思いから、立ち上がった姫路市飾磨のこども食堂kul。月に1回、1日2回の食事の提供は、子どもだけではなく、保護者の方々にもきっと心のよりどころになることでしょう。

彼女たちの活動にお米の寄付を紹介するなど「つなぐ、つなげる」の活動を担えることに、私たちも喜びを感じています。



COLUMN 04

子ども食堂

日本は先進国の中では突出して子どもの貧困率が高いと言われています。そんな中、経済的に温かい食事を家族で取れない子どもたちを救いたいと、各地で子ども食堂が始まりました。今では全国300か所以上で開設され、多くがボランティアで運営されています。ボランティアの仕方も様々。食事を作る人、食材を提供する人、活動資金を援助する人、自分の力で子どもたちが豊かな心になるようにと活動しています。

子ども食堂の目的は貧困の子どもたちだけを対象にしているわけではありません。こども食堂kulのように、何らかの事情で家族といっしょに食事ができず、一人でお弁当を食べざるを得ない子どもたちや親が、ゆったりとした時間を過ごせるように、地域コミュニティの場づくりとして運営されている場合も多くあります。

心もおなかも満たす子ども食堂はこれからも全国に広がっていくことでしょう。利用者から高額な費用をいただけない事業だからこそ、続けるためにはみなさんのボランティア力が必要です。

MESSAGE

こども食堂kul代表
浦岡朋子さん

私たちが住む地区は、共働きの世帯が多く、土日や学校が休みのとき、お母さんが働きにでていないので、お金をもらってコンビニで何か買って食べているという子どもたちがいます。そのような子どもたちから、まず、きていただき、あそこにいけば安くて、温かくて、栄養満点のごはんがたべられるよ。みんな行ってるよ。楽しいよ。ということが、徐々に広がって、貧困等、本当に支援が必要な方に届けばよいなと考えています。



06 事業報告③普及啓発事業 人情喜劇 銀の馬車道

人情喜劇銀の馬車道は、明治時代に開通した日本初の産業高速道路を舞台にした喜劇です。今回の公演は新たに書き直した脚本・台本での3回目の公演でした。今年上演した福崎町は、劇団が初演をした地です。辻川鬼太鼓、山田文庫など地元で活躍する住民の参加も得、総勢60名という過去最多の出演でした。福崎町制60周年記念事業も加わり、当日は松竹新喜劇の渋谷天外氏、藤山扇治郎氏の出演もあり、会場には約500名の観客で満席となりました。5年前にパパイヤ鈴木さんに振付していただいた河童ダンスも加わり、大団円となりました。

福崎町制60周年記念 人情喜劇銀の馬車道 福崎公演

日 程 平成28年9月4日(日)13時30分～15時15分
場 所 福崎町文化センター 大ホール
来場者数 500名
出 演 渋谷天外(松竹新喜劇) 藤山扇治郎(松竹新喜劇)ほか
内 容 主催/銀の馬車道ネットワーク協議会
 協力/松竹株式会社、大阪人情喜劇の会、劇団赤鬼
 山田文庫、NPO法人姫路コンベンションサポート



07 事業報告④その他の活動 コンベンション等の開催に関する事業

コンベンション等の開催に関する事業

イベント開催

従来のイベントに加え、駅前商店街と御幸通商店街のにぎわいづくりにも取り組みました。

- 5月 第17回ひめじ良さ恋まつり
- 7月 姫路港ふれあいフェスティバル
- 通年 駅前商店街「Rally」イベント事業
- 10月 御幸通り商店街ハロウィンイベント
- 10月 ヘルス&ビューティーフェスタ2016



人材育成に関する事業

ボランティアグループサポート

今年度は以下の団体の事務局業務を実施しました。観光客の増加に伴い、特に、英語観光ボランティアガイドの需要は高いものとなっています。

- **アイガイドなびグループ**
姫路城を中心に外国人へ英語でボランティアガイドを行っています。
- **忍者会**
毎週土曜日に姫路城周辺で活動しています。忍者体験楽しいですよ!
- **甲冑隊**
本物の甲冑を身につけて、姫路城下を闊歩します。毎週日曜日に体験も受付ています。
- **さくら組**
足軽門番姿で姫路城大手門を守っています。観光客に大人気です。
- **舞踊協会**
姫路にある7流派が集まり、姫路舞踊協会として活動しています。11月23日には姫路市市民会館で20周年記念公演を開催しました。
- **ひめじ良さ恋まつり実行委員会**
5月の姫路お城まつりの最終日にひめじ良さ恋まつりを開催。1000名を超える踊り子が全国から参加します。

平成28年度収支決算書

自平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

(単位:円)

科目		金額		
I 経常収入	事業収入			
	コンベンション開催に関わること	3,996,378		
	人材育成に関わること	2,107,161		
	情報発信に関わること	21,689,502		
	調査研究に関わること	0		
	普及啓発に関わること	56,346,805	84,139,846	84,139,846
	正会員会費収入	60,600		60,600
	補助金収入	2,097,000		2,097,000
	寄付金収入	55,004		55,004
	受取利息収入	198		198
	雑収入	56,832		56,832
	経常収入計			86,409,480
	II 経常費用	1. 事業費		
事業支出				
コンベンション開催に関わること		3,669,371		
人材育成に関わること		1,030,783		
情報発信に関わること		16,519,469		
調査研究に関わること		0		
普及啓発に関わること		9,362,739	30,582,362	
給料手当(事業)		33,064,847		
減価償却費(事業)		1,069,505		
当期事業費計		64,716,714		
合計		64,716,714		
期末棚卸高		△ 36,554		
期末商品棚卸高計		△ 36,554		
事業費計			64,680,160	
2. 管理費				
研修費		254,945		
給料手当		10,880,675		
法定福利費		4,691,026		
福利厚生費		186,260		
通信費		266,210		
水道光熱費		173,085		
旅費交通費		165,904		
広告宣伝費		42,846		
接待交際費		223,622		
会議費		68,239		
事務用消耗品費		50,919		
新聞図書費		10,037		
地代家賃		600,000		
車両燃料費		21,384		
租税公課		3,027		
諸会費		88,131		
リース料		420,000		
支払手数料		2,500		
管理諸費	601,906			
減価償却費	77,261			
雑費	616			
管理費計		18,828,593		
経常費用計			83,508,753	
税引前当期正味財産増加額			2,900,727	
法人税等			82,000	
当期正味財産増減額			2,818,727	
前期繰越正味財産額			2,639,798	
次期繰越正味財産額			5,458,525	

29年度事業計画

原点にもどり、法人の体制づくりに力を注ぐ

平成29年度は、これまでの地固めをし、より地域と密着したいと考えています。特に観光に関することと、中間支援に関することについては、今まで以上に取り組みたい課題です。特例通訳案内士や民泊推進を視野に入れた兵庫県の特区申請も視野に入れ、各方面に働きかけること。そして何かをやりたいという人をサポートすること。これら2つは、姫路コンベンションサポートが設立以来取り組んできた原点に返ることだと思います。

また、今年には人情喜劇銀の馬車道が10周年を迎えます。今年4月に日本遺産に認定された銀の馬車道は、これからより盛り上がりを見せることでしょう。ここで劇団10周年を振りかえり、今後の劇団のあり方を考えていきたいと思っています。

平成30年に向けたステップの1年にしたいと考えています。

自主事業

- 1 全国週替わりアンテナショップ電博堂の運営
- 2 コワーキングスペース電博堂の運営
- 3 全国発酵のまちづくりネットワーク協議会への参加
- 4 太市まちづくりワークショップ
- 5 人情喜劇「銀の馬車道」10年の歩み 出版
- 6 外国人向け姫路城ウォーキングツアー
- 7 英語観光ボランティアガイド養成講座

委託事業

- 1 きてーな宍粟の運営
- 2 指定管理業務
- 3 太市まちづくりアドバイザー事業
- 4 人形喜劇「銀の馬車道2」市川公演
- 5 その他委託業務

平成29年度収支予算書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

(単位:円)

科目	2016決算	2017予算	増減
I 経常収入			
事業収入	84,139,846	90,000,000	5,860,154
正会員会費収入	60,600	100,000	39,400
補助金収入	2,097,000	2,000,000	△ 97,000
寄付金収入	55,004	0	△ 55,004
受取利息収入	198	200	2
雑収入	56,832	0	△ 56,832
経常収入計	86,409,480	92,100,200	5,690,720
II 経常費用			
1. 事業費			
事業支出	30,582,362	33,000,000	2,417,638
給料手当(事業)	33,064,847	35,000,000	1,935,153
減価償却費他(事業)	1,032,951	1,320,000	287,049
事業費①計	64,680,160	69,320,000	4,639,840
2. 管理費			
研修費	254,945	350,000	95,055
給料手当	10,880,675	14,000,000	3,119,325
法定福利費	4,691,026	5,150,000	458,974
福利厚生費	186,260	200,000	13,740
通信費	266,210	270,000	3,790
水道光熱費	173,085	150,000	△ 23,085
旅費交通費	165,904	180,000	14,096
広告宣伝費	42,846	100,000	57,154
接待交際費	223,622	250,000	26,378
会議費	68,239	50,000	△ 18,239
事務用消耗品費	50,919	50,000	△ 919
新聞図書費	10,037	20,000	9,963
地代家賃	600,000	600,000	0
車両燃料費	21,384	25,000	3,616
租税公課	3,027	5,000	1,973
諸会費	88,131	90,000	1,869
リース料	420,000	420,000	0
支払手数料	2,500	5,000	2,500
管理諸費	601,906	800,000	198,094
減価償却費	77,261	55,000	△ 22,261
雑費	616	1,000	384
管理費計	18,828,593	22,771,000	3,942,407
①+②	83,508,753	92,091,000	8,582,247

STAFF

事務局

玉田恵美
小酒井里佳
依田法子

広畑市民センター

小畑昌弘 渡瀬郁子 小谷由紀 鈴木富美子

飾磨市民センター

室田憲二 元原純子 川治陽子 徳弘真実

東市民センター

北野弘司 岩西正昭 三好真奈美 吉田美紀 松原麻

西市民センター

阿部眞 橋本利雄 東山喜美子 玉越久美子

灘市民センター

福本邦博 吉岡憲彰 小西洋子 岡田寛

姫路市勤労市民会館

中野耕造 駒井信行 中塚孝樹 見津庸子

きてーな突栗

大田寛子 小寺澤亜希子 竹村眞理 奥田智穂 黒田恵美子



特定非営利活動法人
姫路コンベンションサポート

姫路市南町76 城陽ビル2階

TEL 079-286-8988

FAX 079-286-9009

info@denpakudo.jp

http://denpakudo.jp